

分化する良性腫瘍と考えられているが、管状アポクリン腺腫 (p.416 参照) との異同について議論が続いている。

6. 結節性汗腺腫 nodular hidradenoma

顔面、頭部に好発する単発性の皮内結節。腫瘍細胞は、暗調で細長い核をもつ紡錘形細胞と、円形の核をもつ透明細胞とが種々の割合で存在する。後者が目立つものを透明細胞汗腺腫 (clear cell hidradenoma) と呼ぶ。エクリンないしアポクリン系の分化を示す良性腫瘍と考えられている。ときに悪性化することがあり、悪性結節性汗腺腫 (malignant nodular hidradenoma) と呼ばれる。

7. 皮膚混合腫瘍 mixed tumor of the skin

同義語：軟骨様汗管腫 (chondroid syringoma)

青壮年の顔面 (上口唇、鼻、頭部) に好発する、比較的硬い皮内結節ないし皮下結節 (図 21.19)。下部は可動性を有することが多い。1～2層の壁細胞で囲まれた管状構造をとる上皮性組織と、粘液様および軟骨様の間葉系組織とが混在してみられることが特徴である。断頭分泌や毛包系、脂肪細胞への分化がみられることもある。エクリンおよびアポクリン汗器官由来の良性腫瘍とみなされる。まれに癌化する。

8. アポクリン汗嚢腫 apocrine hidrocystoma

アポクリン汗器官系腫瘍。中年以降の眼囲、顔面、耳、頭皮部に単発するドーム状に隆起する透明ないし青色調で直径数 mm～2 cm の小結節 (図 21.20)。真皮内に巨大な嚢腫構造を認め、アポクリン分泌を示す1層の円柱状細胞とその外側に位置する筋上皮細胞から構成される。通常自覚症状はない。患者が希望すれば外科的切除を行う。

9. 円柱腫 cylindroma

日本人にはほとんどみられない。思春期の頭部などに、1～10 cm 大で半球状ないしは軽度有茎性、正常皮膚色～褐色の腫瘤が通常多発する (図 21.21)。頭部全体を侵し、ターバンを巻いているような外観を呈することがある [ターバン腫瘍 (turban tumor)]。まれに単発例も認める。多発型は常染色体優性遺伝を示し、多発性家族性毛包上皮腫 (p.409 参照) と同



図 21.19 皮膚混合腫瘍 (mixed tumor of the skin)



図 21.20 アポクリン汗嚢腫 (apocrine hidrocystoma)

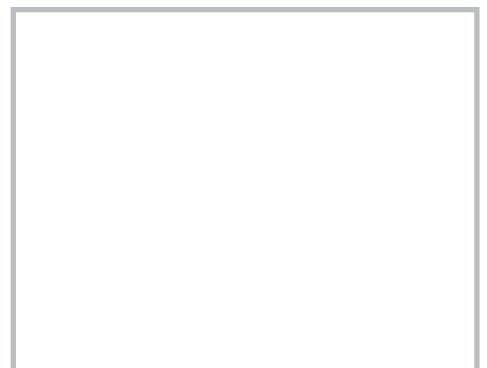


図 21.21 円柱腫 (cylindroma)